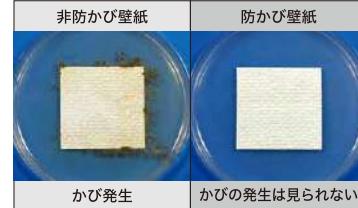


## 防かび壁紙

かびの発生・繁殖を抑える効果があります。

- かびの発生は単に仕上げ面に影響するだけでなく、アレルギーの原因となり、建築材料の持つ本来の機能を失う(強度不足、はく離、変色等の劣化現象)など、かびの対策はとても重要です。
- 防かび性能試験結果  
防かび壁紙は、かびの発育を抑制する性能を有しています。



- 防かび壁紙だけでかびの発生を防ぐ事は出来ません。結露や湿気はかびの発生の原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。すでにかびが発生している場所への施工は、完全に除菌、殺菌してから施工してください。

## 通気性(透湿性)壁紙

- 通気性がある反面、ホコリや汚れがつきやすいので、まめにハタキや掃除機で取り除いていただくことをおすすめします。
- また一般ビニール壁紙に比べ水汚れが付着しやすいので、水廻りへのご使用はご注意ください。

## 蓄光壁紙とLED照明について

- 蓄光壁紙は、光エネルギーを吸収して一時的に蓄え、暗所でこれを徐々に放出して発光します。LED照明は、蛍光灯や白熱灯と比べて光エネルギーが小さいため、蓄光壁紙の発光に必要なエネルギーに到達しない、あるいはエネルギーを蓄えるのに長時間を要する可能性があります。したがって、LED照明では、蓄光壁紙が発光しない場合があります。

## 選択上のご注意

- 防火性能について  
建築物の内装仕上げは、建築基準法による防火上の基準が設けられています。防火性能は、下地材と防火認定材料の組合せ、および施工方法によって変わりますのでご注意ください。
- 機能壁紙について  
機能壁紙をご利用の時は特徴や注意点をご理解の上ご使用ください。
- 使用環境について  
高温、高湿、水濡れの環境や、屋外でのご使用は避けてください。
- 見本帳・サンプルについて  
製造ロットの違いにより、見本帳やサンプルと実際の商品に若干の差がある場合があります。予めご了承ください。

## 施工上のご注意

- 壁紙標準施工法(壁紙標準施工法研究会:施工5団体による編集のもので、壁装材料協会編防火壁装施工法を発展的に改訂したもの)に基づいた施工方法をお願いします。
- 防火壁装にはシーラー処理が標準仕様となっています。また貼替え時の対処の為にも必ず下地状態にあったシーラー処理をお願いします。
- シーラー処理後は十分乾燥してから施工してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色や剥がれ、かび等が発生する場合があります。
- 商品の確認をお願いします。施工前に商品ラベルに記載されている品番、数量、ロットを確認してください。また3巾位施工したところで色差等の確認をお願いします。

## 汚れ防止壁紙の施工上のご注意

- 下地はなるべく平滑に仕上げてください。また施工後のシミや変色を防ぐため、シーラー処理など材質に応じ適切に行なってください。
- コンクリート、モルタル面への施工は必ずシーラー処理を行なってください。汚れを防ぐためシーラーの2~3回掛けをおすすめします。
- 糊付け後は折れジワが付かない様、大きくなたみ、重ね置きはさせてください。
- オープンタイム(熟成時間)は15~30分とてください。
- 施工中、壁紙表面に糊がつかない様、特にご注意ください。糊がついた場合は清水で拭くか「トキワブルクリーナー」で拭きとてください。P.251参照
- 気温が低くなりますとコシが強くなりますので「トキエコタック100」または濃い目の糊(糊10:水6~7)にエチレン酢ビペンドを1割程度加えたもので施工してください。P.251参照
- 冬季施工の場合はカール度が増しジョイントの収まり具合に影響を及ぼす事がありますので、ご配慮ください。
- フィルム貼り商品の内装コーナー材は穴空きタイプをおすすめします。壁紙表面に抜けない接着剤の水分蒸発を下地側に誘導するのに適しています。「かどこテープ」P.251参照
- なで付けはプラスチック製のヘラを使い、丁寧に繰り返しエア抜きを行なってください。

## 吸放湿壁紙の施工上のご注意

- 吸放湿壁紙の性能上、吸水性ポリマーを使用しております。そのため糊付け後の長期間の養生、貯め置きは控えてください。  
※吸水性ポリマーの性質として、湿気を吸し膨張します。その後は湿気を吐き出し元のドライな状態に戻ります。
- 撥でハケは強く擦らない様ご注意ください。糊の水分を含んで膨張した吸水性ポリマーが撫でハケで擦られハケに付着する事がありますが、商品や性能には問題ありません。
- 施工後、日常生活での湿気では吸水性ポリマーが過剰膨張し取れ落ちる様な事はありません。
- 糊付け後の折り畳み  
水分の影響で表層面が弱くなる場合がありますので、畳みジワに注意してください。糊付け時には大きく畳み、過度な押し付けや折り付けは避け、重ね置きはしないでください。
- オープンタイム  
オープンタイムは5~10分程度とて頂き、施工糊が馴染んでから施工してください。夏場と冬場では施工環境が異なります。環境を考慮した保管方法(養生袋の使用、直射日光を避けるなど)をお願い致します。特に合剥ぎを考えますと養生袋の使用を推奨致します。
- ジョイントやコーナー(出隅入隅)  
施工直後及び水拭き直後は表面が一時的に弱くなることがありますので、ジョイントやコーナー等の出隅入隅の収め時には丁寧に撫で付けて頂き、過度な撫で付けや擦り付けは控えて頂きます様、お願い致します。ジョイントのはみ出した糊はきれいな水を含ませたスポンジで軽く撫でるか叩き拭きにて拭き取りをお願い致します。

## 維持管理上のご注意

- 入居後の換気: 施工時の臭いが残っている場合がありますので入居後一週間程度は十分な換気を行ってください。
- 直射日光や高温、熱風からの保護: 直射日光や熱風が長時間あたる場所では、変退色する恐れがありますので、カーテンやブラインド等で直射日光を避ける様心掛けてください。また、ストーブ等の暖房器具の熱風が、直接壁紙に当たらない様にしてください。キッチンのレンジの近く等、高温になる場所への使用は避けてください。
- 粘着テープを貼らない: 粘着テープ(セロハンテープやガムテープ等)を壁紙に付着させない様にしてください。テープの粘着材による変色や汚れの原因、破損の原因となる場合があります。
- タバコの煙等: タバコの煙やキッチンからの油煙は、壁紙を短期間で黄変させてしまいます。できるだけ室内の換気を心掛けてください。
- 薬品や化粧品等を付着させない: スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品等が壁紙に付着しない様にしてください。壁紙が変色する場合があります。
- 汚れが付着したら: ほこりや汚れが付着した場合は、清水を含ませた布で軽く拭き取ってください(中性洗剤を使用すると、より効果的です)。シンナーやベンジン、アルコール等の有機溶剤は使用しないでください。変退色の原因となる場合があります。

- 湿気を避ける: 結露の発生や湿気はかびの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。

- 剥がれが生じた場合: 施工後、経時変化によって、部分的な剥がれが生じる場合があります。文具用糊か木工用の水性接着剤を壁紙の裏面に塗り付けて、十分に圧着させて補修してください。
- 家具を壁面に密着させる場合: 家具の塗料に含まれる色素が壁紙と反応し、壁紙の表面が変色することがあります。特に油性ペイント塗料は完全に乾いていることを確認し、室内的換気に注意してください。

## ご利用に際して

- 規格 50m巻切り。見本帳と実際の商品は若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- ダクト、煙突等高温を発する箇所への直貼り施工は避けてください。
- 商品はタテ積みにて保管してください。ヨコ積み井桁積みは商品によっては置きあとが残る恐れがありますので絶対に避けさせてください。
- 施工および商品写真は印刷の技術上、色調が現物と多少異なる場合がありますので、貼付サンプルでのご確認。またA4サンプルをご用意しておりますので、弊社営業員にお気軽にお申しつけください。
- 製品の価格および仕様は、本見本帳発行時(2020年発売時)のものです。
- 経済的、品質の改善により、やむをえず価格及び仕様を変更させて頂く場合があります。ご注文の際は販売店あるいは弊社営業所にてご確認頂くようお願い申し上げます。
- 見本帳の取手と閉じ具は焼却しても有害物質がでない樹脂を使用しています。

## 廃棄に関するお願い

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」により、新見本帳発行に伴い不要となった見本帳につきましては、産業廃棄物としての取扱いが必要です。従いまして、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託して頂きますようお願い申し上げます。

当社では従来同様、廃棄物の適切な処理を更に推進していく所存です。

貴社のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 残材を焼却しないこと  
ビニール壁紙の残材やサンプル帳を焼却しないでください。
2. 産業廃棄物として処理する場合  
施工後のビニール壁紙の残材やサンプル帳を産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託してください。
3. 一般廃棄物として処理する場合  
一般廃棄物(家庭ゴミ)として少量の残材を処理する場合には、市町村条例に基づいて処分してください。

## 塩化ビニル壁紙の「∞PVC」マーク表示について

平成13年4月1日、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(資源有効利用促進法)が施行され、従来の原材料としての再利用(リサイクル)に加えて、新たに廃棄物の発生抑制(リデュース)、部品等の再使用(リユース)対策が追加されました。今回の施行により、塩化ビニル製の建設資材は解体時の分別を容易にするために、材質の識別表示として「∞PVC」マークを表示することが義務づけられました。

### 表示の開始 および内容

1. 「∞PVC」マークは、平成15年3月1日に製造される商品より表示が開始されました。
  2. 「∞PVC」マークは、壁紙裏面の面積1平方メートルごとに1個所以上表示します。
    - (1) 壁紙裏面の表示は、目視で確認できます。
    - (2) 表示は壁紙表面への色の影響を抑えるため、比較的淡い印刷インクを使用しています。
    - (3) 剥がした壁紙の裏面にブラックライトを照射させると、表示マークの確認が容易です。
- [特許第3058575号]



トキワ工業株式会社 大垣工場